

1 概要

農繁期における労働力不足を解消するため、今年度からスタートした「外国人材活用トライアル事業」をはじめ、「やまがた農業ぷちワーク」や県職員による「やまがたチェリサポ職員制度」、「元気な農業人材確保プロジェクト事業」などの取組を実施。

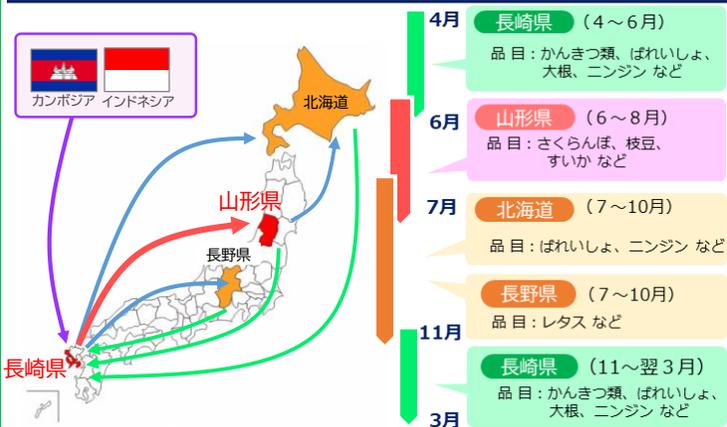
2 実施状況

(1) 外国人材活用トライアル事業

農繁期の異なる他県と連携したリレー派遣の取組みの試行を通して、人手不足の解消に向けた新たな手法を検討

- 受入予定の外国人材の実人数：**18人** (R6目標:20人)
(6/11時点)
- 国籍:カンボジア(12人)、インドネシア(6人)

■ リレー派遣のイメージ



■ 外国人材の受入状況

主な品目	経営体数 (外国人材数)
さくらんぼ	3経営体(6人)
きゅうり	2経営体(4人)
すいか	2経営体(3人)
キャベツ	1経営体(2人)
枝豆	2経営体(3人)
合計	10経営体(18人)

■ 外国人材を受入れた経営体の感想

- 仕事の覚えが早く、期待以上に働いてくれる
- 手先が器用だ
- 来年も同じ人に来てほしい
- 外国人材の働きに影響を受けて、日本人の従業員も活気づきはじめた

外国人材によるさくらんぼの箱詰め作業▶



(2) やまがた農業ぷちワーク

1日農業アルバイトアプリ「daywork」を活用した労働力マッチングの推進

- 成立数：**延べ 9,017人** (R6目標:延べ15,000人)
(6/11時点)

■ マッチングの状況 (単位:人)

	4~5月		6月	
	R6	R5	R6	R5
求人数	5,322	3,029	5,504	5,033
成立数	4,909	2,764	4,108	4,207
成立率	92%	91%	75%	84%

- 4~5月は、成立数が昨年度の1.7倍に伸びた。
- 6月は、昨年を上回る求人数となる一方、**成立率は75%にとどまっている状況。**

(3) やまがたチェリサポ職員制度

県職員の副業によるさくらんぼ収穫・出荷作業等への従事

- 申請者数：**41人** (6/12時点)

【参考】県内市町村の取組み

職員の副業による農作業等への従事制度の導入
(寒河江市、山形市、上山市、天童市、東根市、南陽市)

さくらんぼ収穫作業に従事する職員 (6/8) ▶



(4) 元気な農業人材確保プロジェクト事業 (農作業受委託モデル)

県外(首都圏等)からの多様な人材の呼び込みによる農作業受委託モデルの実証(県・JA全農山形・JTBによる三者協定プロジェクト)

- 農作業受委託の参加人数：**延べ 942人** (R6目標:延べ5,000人)
(6/6時点)